

～楽しく飲んで
被災地を応援～

ゆめ・まち

GLASS to HAPPY



東日本大震災から8年を迎える時期に、震災で被害に遭った東北地方の酒蔵や銘酒を紹介するイベントを開催。当時の状況や現地の「今」について、有名酒造メーカーご担当者の生の声をお届けします！また、東北三県の魅力を知り、試飲を楽しめるブースもご用意！月日とともに風化しがちな震災被害について、お酒をたしなみながら思いを馳せて、関西からエールを送りませんか？

試飲あり **ご当地おつまみあり**

開催日

3月2日 土 ①11:30-13:30 ②14:30-16:30

会場

阪急西宮ガーデンズ
本館4Fガーデンズホール
(兵庫県西宮市高松町14-2)

費用

無料

※ お子様の同伴を含め、未成年者の参加はお断りしています。
※ 当日、受付にて身分証(写真付き)の提示をお願いする場合がございます。

定員

各回60名(事前申込み制、先着順)

対象

- 1.災害復興支援に関心のある方
- 2.東北地方の魅力を知りたい方
- 3.日本酒・焼酎など酒類に興味のある方

申込み

2月8日(金)から申し込み開始。
下記HPよりお申込みください。
http://stajimo.jp/?page_id=8674



申込みはこちらから

後援

復興庁

プログラム

1 岩手県・宮城県・福島県
酒蔵メーカーご担当者によるパネルトーク

約80分

2 三県の魅力を知り、
酒蔵メーカーのお酒を試飲！

約30分

3 東北の復興を願い、
応援メッセージを送ろう！

約10分

※写真はイメージです。
※各酒蔵2種類程度を試飲としてご用意する予定です。



岩手県 盛岡市

あかぶ 赤武酒造 株式会社



酒蔵や社屋の全壊を経験した後、本拠地を盛岡市に移し、復活蔵で酒造りを再開。被災企業が造る酒というイメージを払拭するため“個性的でインパクトのある日本酒を”と、新ブランド「赤武(AKABU)」を立ち上げ、専門家からも高い評価を得ている。



宮城県 気仙沼市

おどこやまほめてぬ 株式会社 男山本店



男山 本店

本社・資材倉庫が全壊、瓶詰工場も浸水する被害を受けたが、残った酒蔵で地元の方からの応援や手助けに後を押され、翌日3月12日から温度管理などの仕事を再開。人や地域に支えられたお酒は海外に輸出を行うなど新たなチャレンジを続けている。



福島県 南会津郡

合同会社 ねっか



2016年設立。自社生産した酒米を使った焼酎は、初年度生産分から国際コンクールで受賞するなど評判を呼んでいる。焼酎の製造販売に加え、地域の魅力を伝える取組みもやっている。



宮城県 気仙沼市

かくほし 株式会社 角星



製造蔵への影響は少なかったものの、国登録有形文化財に指定されていた本社が倒壊し、5年という年月をかけ復旧。創業以来「品質第一」を旨とし、淡麗さの中にも旨味を感じるその酒質は、新鮮な魚介類の持ち味を邪魔しないとい有名。

◆主催・問合せ 阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局(阪急阪神ホールディングス株内)
06-6373-5086 (9:00~12:00、13:00~18:00、土日祝は休)

「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」とは

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/social-labo.html>

「未来にわたり住みたいまち」をつくりたい！そんな想いを同じくする市民団体の方々と協働で、グループ社会貢献活動「阪急阪神未来のゆめ・まちプロジェクト」が進める、お客さま参加型の新たな共感創造の取組みです。ワークショップやセミナー等を通して、さまざまな「つながり」を発見し、社会課題の解決に向けた種をまく場となることを目指します。

